

● 広報室から

1 第1期卒業生、医療人として研鑽の日々が始まる

2011年春、社会に羽ばたいた第1期卒業生103名。鍼灸師や理学療法士として夢の実現に向かって第一歩を歩き出した4人を紹介します。「脳梗塞の後遺症で麻痺や拘縮がある手を指と鍼だけで見ると動くように」にしていた先生の技術を自らのものとするべく、関西近県の施設を往療する長尾敏寛さん。不妊治療クリニックで、将来レーザー治療と鍼灸治療の両面から患者さんを癒せる鍼灸師をめざす田島里美さん。「初見、あるいは複合的な症例は自宅で調べ直し」ながら、回復期のリハビリ



長尾 敏寛さん



田島 里美さん

テーション病棟でプロへの闘志を燃やす麻井和也さん。そして「社会人になって、大学での実習ノートや国家試験前に習得した基礎知識が実際に身につくようになった」と語る岡山奈央さん。

病院や福祉施設、鍼灸整骨院へ就職した第1期卒業生は70名。歯科大学や本学大学院・専門学校等への進学その他が33名。皆さん、本学で培った知識や経験を土台に、現場でぶつかるさまざまな困難にくじけることなく、明るい笑顔を忘れずに、森ノ宮医療大学第1期生として素晴らしい人生を歩んでいただきたいと願っています。

(斎藤 恒之)



麻井 和也さん



岡山 奈央さん

2 さきしま 咲洲地区イベントの地域交流活動が大盛況

8月19日、昨年度に続き大阪府・大阪市主催の「大阪府咲洲庁舎 魅力発信・体感イベント」に地元の協力大学として参加しました。健康をキーワードに出展した本学のブースには「ツボ刺激による誰でもできるセルフメンテナンス」「肺活量チェック」「救急蘇生体験」「体力・呼吸循環機能チェック」等のコーナーを設け、高齢者の方から小さなお子さんまで約350名が訪れ、賑わいをみせていました。

今秋は、大阪市等の主催する市民参加型イベント「大阪ヘルスジャンボリー2011」(10月2日開催済み)や、大阪市港湾局主催の「咲洲ベイウォーキング」(10月23日開催)、相互連携協定を締結している大阪府立急性期・総合医療センターや相愛大学との三者連携シンポジウム「生と死を、今考えるⅡーやすらぎのがん医療ー」(11月5日開催)等にも参加を予定しています。

キャンパスがある咲洲地区の活性化や社会貢献をめざし、地域の方々との交流をはじめさまざまな取り組みを今後も行っていく予定です。(石塚 充弘)



3 真夏のオープンキャンパス、4日間で1,200名以上が参加

7月23日・24日、8月13日・14日の4日間開催したオープンキャンパスに、1,200名という例年を大きく上回る受験生や保護者の方々にご参加いただきました。

夏休み開催ということで、さまざまな特別企画を実施。7月24日は、本学アロマコーディネーター養成講座で資格を取得した学生による「アロマハンドトリートメントとスポーツアロマ体験」、8月13日にはオープンキャンパスで毎回大好評の最先端研究模擬講義の特別編として、脳梗塞の罹患経験を持つ40代高等学校教員男性に貴重な疾病体験談を披露していただき、14日には高知県在住の鍼灸師で、シンガーソングライターでもある堀内佳さんによるトーク&ライブ。いずれのイベントも参加された皆さまから好評を博し、大成功のうちに終了しました。

日一日と秋色が増すにしたがって入試も本番突入。これから大学祭同時開催のオープンキャンパスや入試対策勉強会など、受験生獲得に向けてイチ押し企画が目白押しです！ホームページにて随時、大学の最新情報を公開しておりますので、ぜひご覧ください。(金 徹)

